

マイセルフ

自分らしく

特集
1

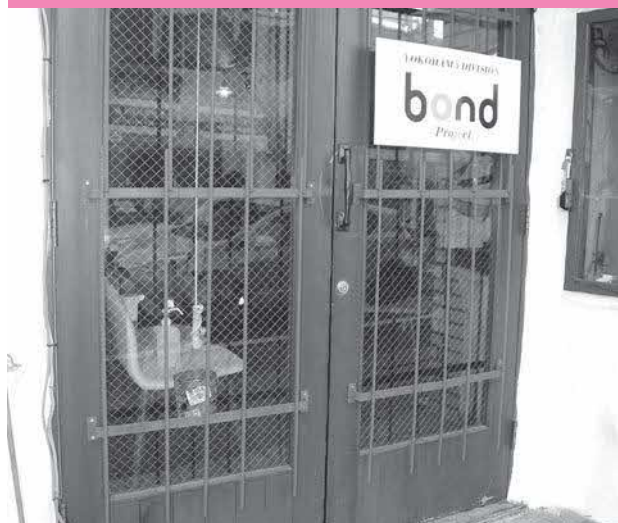
若年女性たちのSOS

～埋もれる声に、耳を傾けて～



BONDプロジェクト代表 橋ジュンさん

★ 2020年10月OPEN 横浜カフェ相談室 ★



私たちが見つけた品川区の

Vol. 20 東品川海上公園

ちょっといい所
素敵なおところ♪



東品川海上公園は天王洲運河に面した公園でアイル橋を挟んで北側と南側に分かれています。広々とした空間で都会にいながら、自然を感じることができます。散歩や休憩にいかがでしょうか。



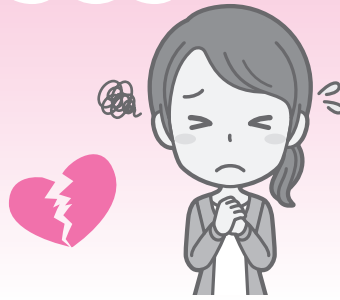
- 特集1 若年女性たちのSOS ～埋もれる声に、耳を傾けて～ 2～7 P
- 特集2 大井町駅前公衆トイレ 「性別ではなく、機能別」の新様式へ 8～9 P
- 第17期行動計画推進会議報告書完成に寄せて 10～11 P
会長川真田嘉壽子さん
- 男女共同参画センターからのお知らせ 12～16 P

2022 春号

VOL. **64-65**
合併号

若年女性たちのSOS

～埋もれる声に、
耳を傾けて～



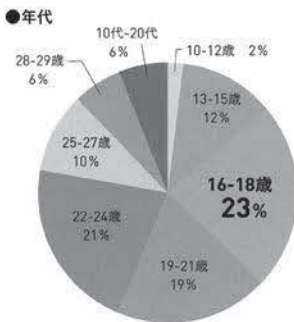
2018年発行の58号で特集しましたが、コロナ禍が長期化する中、孤独を深める若年女性たちの現状を知るため、相談・支援を行っている特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表の橋ジュンさんにお話を伺いました。

コロナの影響で難しくなった活動はありますか。

コロナ禍で行政機関に繋ぐのが難しくなりました。BONDプロジェクトでは、SNS相談・電話相談・メール相談・オンライン面談、横浜のカフェ相談室では、実際に会って話しを聞かせてもらうなどの相談を受け付けています。さらに、出張面談では、相談に来てくれる子と地元の支援者さんを繋ぐ同行支援もしています。その民間団体の方が、コロナ禍で、私達が東京から行って会うことをためられる場合もあります。東京に住んでいる人と会ったら二週間自宅待機しなければいけないと言われる事もあります。根本的な問題としては、私達の課題でもありますが、若年女性の支援ができる団体が全国的に少ないです。行政に繋いだら、抽象的な支援はしてもらえません。そのなかで困っていて相談に行けな

SNS相談

2020年度 LINE相談に届いた声 [18,991件] より



●抱えている問題(主訴以外での複数回答)

問題	件数	問題	件数
1 メンタル	16,258	15 援交	342
2 家族	12,020	16 育児	294
3 対人	9,905	17 家出	265
4 学校	6,922	18 引きこもり	208
5 仕事	5,836	19 妊娠	186
6 虐待	3,682	20 中絶	68
7 障害 (発達、知的、精神、身体)	3,319	21 ストーカー	60
8 恋愛	3,250	22 痴漢	28
9 体のこと (性感染症、健康問題など)	2,397	23 その他犯罪被害	19
10 暮らし	1,976	24 リベンジポルノ	18
11 お金	1,782	25 盗撮	9
12 性被害	1,606	26 出産	7
13 ネットトラブル	814	27 AV	1
14 DV	422	その他	386

- 2020年3月以降 「虐待」「お金」「暮らし」の相談が増加傾向。
- 2020年4～5月 前年比より「学校」の相談が減り、「家族」の相談が増加。
- 2020年5月以降 「DV」の相談が増加傾向。「無職」の相談者が増加傾向。

日本全国からの相談で見つかった新たな問題点や課題はありますか。

家族による悩みというのが多かったです。本人的にはSOSを出していても気付いてもらえなかったことや、支援機関などの第三者が介入すべき状況であったということもあります。18歳未満の場合、家族間の虐待は児童相談所に対応し、必要があれば保護してもらえるなど、安全な

場所で暮らす機会はありません。ただ、相談できずに過ごし、対応が遅れてしまうこともあります。また、コロナ禍で親がリモートワーク、子ども達は休校で、家族が共に同じ場所です。過ごす時間が増えた事でDVや虐待が増えています。しかし、よくよく聞くと、突然親に何かされる訳ではなく、性的虐待とかを受けているような子が以前から、お風呂を覗かれるだとか、着替えているところを見られていたとか前から嫌だなど思うことが色々あると思います。コロナ禍の影響で、家で過ごす時間が増え、更に辛い状況になっているのです。家族間の悩みだと声を上げづらいので、「声を上げてもらいたいんだよ」

という情報発信は、とても大事だと思っています。しかし現状は、支援現場が疎んでいて、なかなか追いついていない状況だと感じています。

行き場のない女性たちに具体的にどのような支援策を行っていますか。

自分たちのシェルターで保護することもありません。しかし、一番大事なことは、関係機関に繋ぐということ。私たちの所に相談に来る子は、「制度が分からない」「親からは逃げたいけど学校には行きたい」「アルバイトはできそう」という状況です。でも、若年の子が一時的に安心して暮らせる場所の確保が足りていない事で、選択肢が少なくなるためこれを拡大していくのがこれからの課題です。また、未成年の子を保護しなければいけない場合は、児童相談所が間に合わないとは対応できないケースもあります。自治体によって対応は様々で、同じ公的機関でも「後はBONDさんがやり取りしてください」と言われる機関もありますし、「本人が選んだBONDの所で一時保護委託をお願いします」と言ってくれる機関もあります。そもそも「前例がないからできない」と断られる機関もありました。

活動を通して、行政に伝えたいことはなんですか。

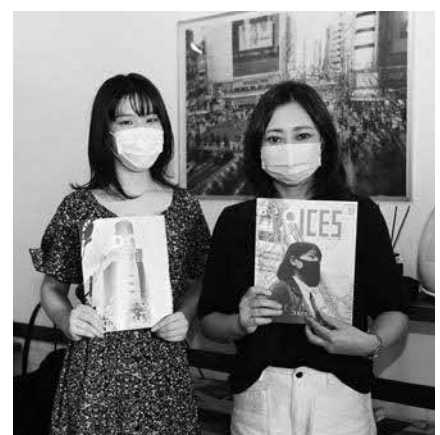
私たちも毎日相談を受けて、色々な問題と向き合うことを繰り返しているのですが、誰から現状を学ぶかというと彼女たちからなんです。行政の皆さんには、「彼女たちに教わる気持ち」が大事だということをお伝えしたいです。相談者に寄り添って、出来ることをしていくことは大切だと思います。

また、若年女性の支援をできる環境や体制をもっと増やしていきたいと思っています。児童相談所も若年の相談者の対応は、同世代の相談員

の方がいると良いなと思います。年が近いと話しやすいですね。年齢だけではない部分もありますが、とっかかりとして話しやすい人がいると警戒心も無くなるので、気を許して相談ができる環境は改めて欲しいと思います。

前回(2018年)の取材時から環境はどのように変化しましたか。

やはりコロナ禍のため、これからは変わっていくと思います。私達も行政の方たちとは違う立場ですが、困っている女の子のためにか、相談者を守りたいという思いは一緒です。そこを行政には理解してほ



しいと思っています。行政も出来ないことは出来ないって言うのもいいと思うんです。彼女たちにとって必要なことを伝える気持ちは分かれますが、話し方や、気軽に相談できる雰囲気最初につけて欲しいです。

BONDプロジェクトの相談は、10代・20代の学生が多く、SNSに限っては小中学生からの相談もあります。義務教育の年代の子は、大人も本気になります。ちゃんと声をあげた勇気に、大人も救いたって気持ちが強くなります。大変なのは高校生世代です。自分で自分のことをある程度出来る年齢だけど、この高校生たちもまだ子どもで、守られるべき存在です。話を向けた責任もあるし、話を聞いてしまった責任もあります。けれど、これからの人生を

10代・20代女の子専用相談 キミと繋がる

bond project

10代 20代 女の子専用 相談

キミと繋がる

bond Project

LINE 相談

LINE ID @bondproject

相談時間：月・水・木・金・土曜日
14:00~18:00 (受付は17:30まで)
18:30~22:30 (受付は22:00まで)

ホームページ

http://bondproject.jp

メール相談
(24時間受付)

hear@bondproject.jp

電話相談

070-6648-8318

相談時間：
月・土曜日 18:00~21:00
水・日曜日 14:00~19:00

10代 20代 女の子のための
カフェ型相談室

水・日曜日 13:00-19:00 相談室開室

*面談を受け付けています。
*予約優先になるので、出来だけ事前に
LINE・メール・電話で問い合わせみてね。

決めるということは本人が出すべき考え・答えであって、出した答えを誰が応援するかという個人的な思いだけでは難しいのです。「ずっと苦しいわけじゃないから、元気になるから」そう思うのですが、それまでちゃんといられる安全な場所が少ないという状況です。だから、社会全体で見守れるような体制を作り、彼女たちが無事大人になり、「生きていてよかった」と思える社会を目指していきたいでしょう。



本人が必要ないと言った場合でも支援はしますか。

「何かあったら教えてね。また連絡してね。」と声を掛けるくらいで、細く長くどうにか関わられたらいいな気持ちも伝わっているといいなという感じ。それでも私たちは変わらないでいることが大事だと思っています。長い子だと20代の間ずっと相談してくれる子もいますが、30歳になったら卒業という区切りをつけ、私たちなりの卒業式をします。でも相手から突き放された、見放されたと思わないように、本人が今後どう関わりたいかという意思を尊重します。何もできない傷ついた女の子ではなく、色々な可能性があり、元気で、自分でやりたいことを選べる世代でもあるから、そこを上手くバランスを取るようにアドバイスをしています。だからといって、「もう一人で大丈夫だね」とすると、それこそ色々な問題になっていくので、その辺は常に悩んでいます。BONDという場所は、通り過ぎていく止まり木のような場所であってほしいと思っています。そういう存在でいたいんです。相談に来てしばらく様子を見て、本人と相談

して決めて、色々な繋がりを増やしていきたいと思っています。何が必要かということをも、こちらで最初に組むことはせずに、「そういう場所いいかもね、じゃあちよっとう行ってみる？」とか、そういう感じで行っていくのが大事ですね。



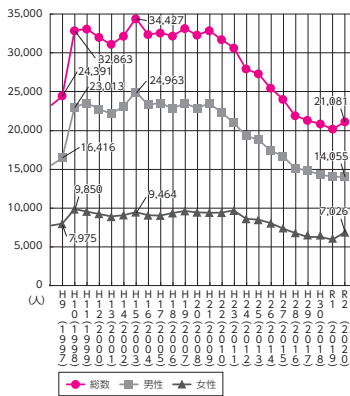
周囲の知人がDVや虐待などに苦しんでいる場合、どうすることが最善ですか。

友達だから心配だし、なんとかしてあげたいですね。まず出来ることは、話を聞いてあげることだと思います。加えて、相談先を教えることも同時に必要だと思っています。そのためには相談場所の正しい情報を得ることも大事です。友達の意見と専門的な相談先の意見、どちらも必要なことだと思っています。すぐには判断できないかもしれないけれど、

女性の貧困はどのようなものだと考えていますか。

色々な情報の中から、正しい情報を得て行動を選べると思います。もし、知り合いから相談された時は、「あなたが心配だし、痛い目や嫌な目にあってほしくないから相談に行こうよ」という一言が大切です。

家やお金がなくて生活が出来ない、仕事がない、DV、虐待もそうです。また、就職やキャリアアップなど社会的・経済的自立は女性の方が大変という点と、女性と未成年は弱い立場にあるという点がずっとセットになっていると思います。10代の時に、安心できる人やコミュニケーションの場が無かった子どもは、自己肯定感も低く、自分を大事にできない部分があり、自立していくのが難しい傾向にあります。コロナ禍で男性が職を失ったというのもあると思いますが、女性の方が非正規雇用などの割合が高く、失業したケースも多いのではないのでしょうか。弱い立場の女の子を守ってあげたいから、守るのだけど、守りすぎて打たれ弱くなってしまう。そういう時に支える、守れる家族の存在が大きいと思います。見守ることが出来るのが家族か



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成
▲自殺者数の推移 R2は女性の自殺者数増加に転じた

もしないけど、そういう場すら無い子たちは危ない場所にしか救いを求められず、「助けて」と声を上げられず、そこでもっと利用されてしまい、私たちのところに相談に来ます。なんとかその悪循環を止めたいと思うんです。貧困という問題を解決するためには、若い子たちが政治にもっと興味を持つことが大切だと思います。私もこの仕事を始めてからようやく興味を持てたのですが、どういふ人がリーダーになっていくかで大きく変化すると感じます。大変な思いをするのは困っている子たちで、そういう人たちが生きやすくなる政治になってほしいです。

また家族間の悩みが多く、救い先が無いのが本当に大変です。でも家族がダメなら、社会全体で支えていけばいいと思うため、もっと優しさを持って見守ってほしいと思います。だからこそ彼女たちが声を上げ、そ

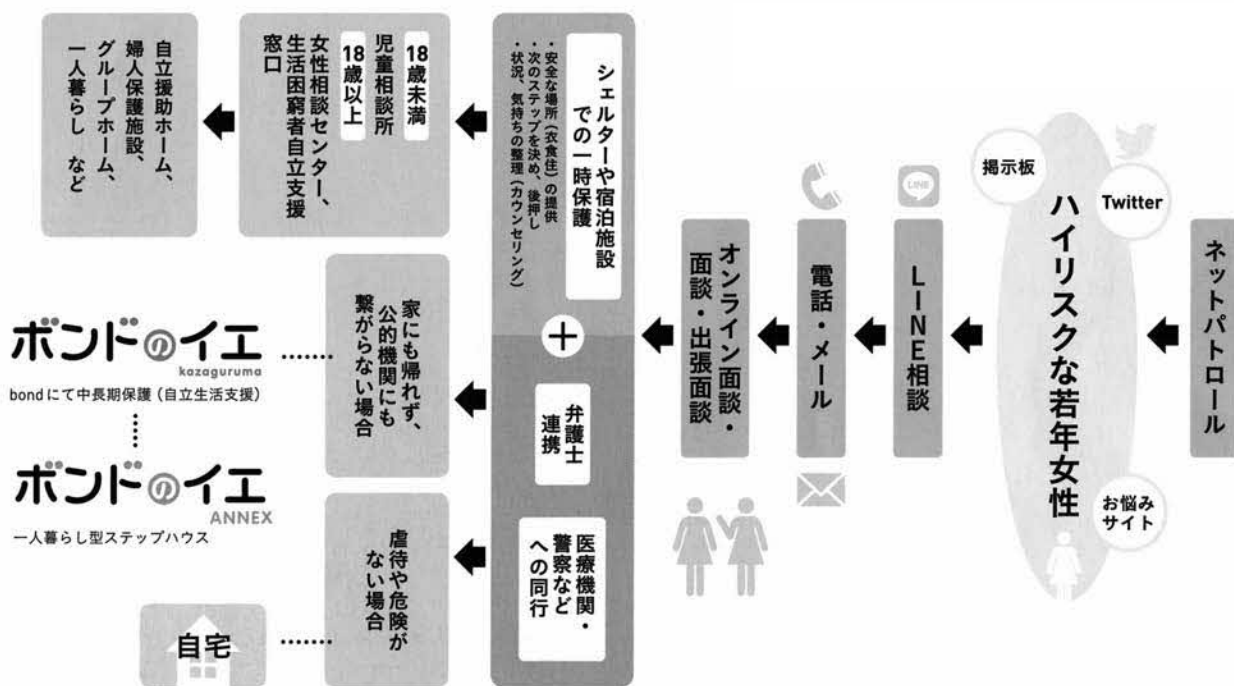
れを伝えていく情報発信は大切です。そのためには、直接話せる場所は必要だと思えます。

最後に読者の方にひとことお願いします。

マイセルフの読者の方にお伝えしたいことは、悩んでいた、困っているときに、誰にも話せない、相談できない背景には貧困が関係していることです。彼女たちの話をよく聞き、つぶやきをSNS上で見るだけではなく、つぶやいている女性たちの相談にも乗りたいと考えています。例えば愛知県警の取り組みで、生活安全局が相談課もやっていて、ネットパトロールから相談に繋がる良さがあります。警察は影響力が大きいので、愛知県警のような取り組みが全国的にも広がると嬉しいです。警察も含めて、相談機関の人たちは、何とかしたい気持ちは同じだと思うので、そういう人たちと連携が取れたい良いと思っています。

最後にBONDプロジェクトの活動において大切にしている点は、相談してくれる子達の話を一聞かせてもらってる」という気持ちを忘れないことです。

ネットの繋がりからリアルな繋がりへ



BONDプロジェクトの相談室



コロナ禍の影響により、さらに居場所を失ってしまった女の子たちも多く、このような状況下であるからこそその対面相談や居場所の必要性を感じ、開室しました。

温かな雰囲気のカフェ相談室

東京都相談窓口

ささえるライン@東京

東京都

秘密は守ります



匿名・無料で相談できます

▼友だち登録はこちら

パートナーといると「怖い」「束縛されている」と感じるなら、それはDVかも。LINEで相談しませんか。

QRコード

都内在住・在勤・在学の方対象 毎日14時～20時(年末年始を除く)

パートナーにこんなこと、されていませんか？

なぐられる
スマホをチェックされる
友達と会わせてもらえない
けられる
ムシされる
どなられる
裸の写真を撮られる



あなたが「ちょっと我慢すれば…」と思っていることも、DVかもしれません。一人で抱え込まず、ご相談ください。

▼相談先一覧

東京ウィメンズプラザ電話相談窓口

DV専用ダイヤル	☎03-5467-1721	毎日 9:00～21:00 (年末年始を除く)
一般相談	☎03-5467-2455	
男性のための悩み相談	☎03-3400-5313	月・木 17:00～20:00 土 14:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)



この印刷物は、
複製・
リサイクル
できます。

リサイクル適性(B)

東京ウィメンズプラザ

全国共通 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

まずは、話してみませんか？

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター
(全国共通短縮番号)



はやくワンストップ
#8891

性暴力の悩み、ひとりで抱え込まないで。ためらわずに、お電話ください。

相手の望まない性的な行為は、性暴力です。性暴力は、性別や年齢にかかわらず起こります。身近な人や交際相手、配偶者から被害を受けることもあります。つらいことや不安なことは、ひとりで抱え込まず、まずは私たちに相談してください。

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター #8891

●発信場所から最寄りの相談窓口へ、あなたがかけた電話を自動転送します。

●一部のIP電話、PMS等からつながりません。

By calling this number, you will be automatically connected to your closest one-stop support centers for victims of sexual crime and violence.



内閣府
性犯罪・性暴力とは

警察の性犯罪被害相談電話
でも相談を受け付けています #8103

品川区男女共同参画センター相談窓口

ひとりで悩まず
まずは相談を！

相談無料 秘密厳守

性別は問いません

品川区男女共同参画センター

女性相談員による総合相談 要予約 性別不問

法律相談 面接のみ

第1水曜日、第2火曜日 13:00～15:30 / 第3月曜日 17:30～20:00

カウンセリング相談 ----- ※電話相談は予約不要

電話 第1・2・5木曜日 10:00～15:30 / 第3木曜日 10:00～19:30
面接 第4木曜日 13:00～16:00

DV相談 面接および電話 ----- ※男性は電話相談のみ

毎週金曜日(第2週除く) 13:00～16:00 / 第2金曜日 17:30～20:30

●予約専用 03-3784-0820

●相談専用 03-3784-0821

取材後記

相談する側、受ける側それぞれの苦悩を目の当たりにして、胸の詰まる思いがしました。

支援は自立のためのものであり、依存とは異なります。救おうとする気持ちが行き過ぎてしまえば、相談者の自主性を奪うことにもなりかねません。その線引きの難しさを痛感したと同時に、私も身近な人ともっと話をしてみようと思いました。

(伊藤ひなた)

取材を伺う中で、自分の身の回りの友達や知り合いに相談を受けた時にどのように対応してあげられたら良いのかを学ばせていただき、非常に勉強になりました。改めてBONDプロジェクトは生きづらさを抱える女の子たちの拠り所になっていると感じました。

(桐生玲奈)

相談したい少女たちに対して、一人一人救ってあげたいという気持ちがあり、自分にもできることをしたいと考えました。コロナにより、今まで以上に貧困で悩む子が増え、

お金の問題はやはり解決するのが難しいので、まず声を聞くことが大切だと思いました。

(倉石望愛)

女性たちが助けを求めることができず夜の街に出るしかない状況を作っているのは、私たちの偏見や彼女たちの話に耳を傾けようとしていないから関係性ではなく、まずは彼女たちの話に静かに耳を傾ける、彼女たちの立場で共に考えるなど、私たちにも出来る小さいことから始めませんか。

(永谷優奈)

同世代の女の子、また更に私よりも年下の女の子が誰にも言えず、苦しんでいるという現状をまずは知ることが大切だと感じました。その現状を知れたのなら、次は手を差し伸べることが出来ます。一言声をかけて話してみることは誰にでも出来ます。取材を通して、そのような気づきを得ることができました。

(濱崎キララ)

橘さんにインタビューをするのは今回で2回目ですが、コロナ以前と現在では、女の子たちを取りまく環

境は大きく変わっていることを実感しました。ある女の子にとって「おうち時間」は耐え難いものであること、家にいたくてもいられない人たちがいること、このことを多くの人に知ってもらい理解してほしいと思います。

(星野未来)

DVや虐待などは自分が実際に被害にあわないと本当の辛さを理解することはできないと思いますが、話の中で出てきた女の子たちのエピソードを聞いただけでも本当に辛そうでした。直接は無理でも私も彼女たちのために自分にできることをしたいと思いました。

(山岸杏紀)

前回の取材から参加させていただいていましたが、若年女性を取り巻く環境について革新的な変化をするというのはまだまだ難しいのだと思います。だからこそ一緒に考える、他人事にしないという私たちの意識こそ一番大切なことなのだと改めて考えさせられました。

(山崎真穂)

今回のお話を聞いて生きづらさを抱える若年女性の相談件数が新型コ

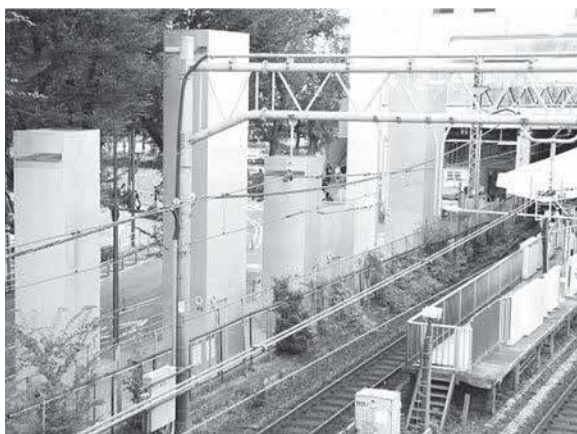
ロナウイルスの影響によって一層増えていることを知り、コロナによる影響の大きさを痛感しました。自分たちじゃ何も出来ないから突き放すのでは無く、まずは話を聞いてあげることが相手にとって支えになり救いになっていくのだと学びました。

(吉岡真依)



大井町駅前公衆トイレ

「性別ではなく、機能別」の新様式へ



区では、品川区行動計画（第5次）マイセルフ品川プランの基本目標1「人権が尊重されるまち」しながわの実現」に向けて、様々なところで、性的（セクシャル）マイノリティへの理解促進と支援に取り組んでいます。今回は、公衆トイレの建て替えにあたり、「性別ではなく機能別」をコンセプトに新様式を取り入れた、担当の泉勝也さん（品川区防災まちづくり部公園課）にお話を伺いました。

機能別トイレの設置に至った経緯を教えてください。

もともとあった公衆トイレの老朽化が進んでいたことと、バリアフリーなどの必要性が出てきたことから、改築することになりました。区が設計の事業者を選定する場合、経済性や実績を重視するのですが、日本建築家協会から若手建築士にも公共建築物の経験を積ませて欲しいと要請を受け、経験を重視しない設計コンペを開催しました。そうしたところ、全部で227個の作品が提案されました。その中から今回選ばれた作品が、設置された機能別トイレです。



この機能別トイレに込めた思いや、利用者に対してどのような思いがありますか？

他のトイレでは、多機能トイレに利用が集中している実態があること

から、今回機能分散を図ったものなので、機能に応じた利用をしてほしいなと思います。

用途を重視し、男女の区別をなくしたということですが、性の多様性も背景にありますか？

性的少数者の方への配慮は大きなことだと考えており、性の多様性も背景にあります。一方で、公衆トイレの入り口は、プライバシーの観点から、敷地外の視線を遮るケースが多く、男性と女性の方が同じトイレを使うことは防犯上の懸念等があり、簡単に踏み出せず、思慮するところ です。



子育て面で、女性だけではなく男性も小さい子どもを連れて利用できるようにしてほしいと言った意見がありましたか？

以前は、おむつ替えスペースは女子トイレに設置、という流れがありました。今はそういうことはなく

て、区の公衆トイレや公園トイレもベビーチェアがついている男子トイレが増えてきました。お父さん、お母さん関係なく、子ども連れの方も含めてみなさんが安心して利用できるように、ここだけに限らず区内の色々な公園や公衆トイレで進めていきます。

大井町駅前の機能別トイレのよくなトイレを、今後どこかに広げていったりはしますか？

今回設置した公衆トイレは、多機能トイレの利用集中を緩和するため計画し、設置しています。他の公衆トイレや公園トイレについては、本当に利用が集中しているのかを、しっかりと見極めないと無駄な投資になる可能性もあり、慎重に判断していきます。

マイセルフの読者に一言お願いします。

多くの作品から選ばれた新しいコンセプトの公衆トイレを是非ご利用ください。



★取材後の感想

今回の取材を通じて、公衆トイレにも様々な工夫がなされていると知り、イメージががらっと変わりました。このようなトイレの存在をより多くの人に知ってもらうためにも、積極的に発信していきたいと思います。

(伊藤ひなた)

今回の取材を通し、初めて機能別トイレの存在を知りました。このようなトイレを多くの人に知ってもらい、また、マナーを守ったうえで沢山の方に利用してもらうことができたいと思います。

(桐生玲奈)

ジェンダーなどで男女関係のないトイレがこの先もいろいろな場所が増えるといいと考えました。また、一人一人が使いやすいトイレを目指していく活動が必要だと考えました。

(倉石望愛)

本当の意味で「多様性を認めた」トイレであると感じました。それだけが抱える異なる問題に真摯に向き合い、実用化のためにデザインや使

用する上で懸念される細かい問題にも配慮した、多様性を認めたトイレの第一歩であると感じました。

(永谷優奈)

「性の多様性」また母親に限らず「父親」の子育て、すべてに対応することの難しさがありますが、私たちが認め合い、綺麗に使うことによって、この機能別トイレが様々な場所に広がると良いと感じました。

(濱崎キラン)

公衆トイレの見直しがされていることを初めて知りました。この見直しのおかげで、トイレに不安を抱える人が減って、暮らしやすい街、そしてジェンダーに関係なく子育てしやすい街がさらに増えることを期待します。

(星野未来)

綺麗な印象を持たれない公衆トイレですが、デザインが工夫されており、実際に見たところ一つのオブジェの様でした。それにより気軽に利用しやすくなり、また利用者も綺麗な使用を心がけるようになるため、よく考えられていると感じました。

(山岸杏紀)

多目的トイレが広く知られている名前ですが、機能別トイレというものがあることを初めて知り、勉強になりました。この機能別トイレが、個人の事情や立場に関係なく多くの人に広まって使える様になればいいなと感じました。

(山崎真穂)

新しい視点で設計された機能別トイレを多くの人に知ってもらい、バリアフリートイレしか使えない人たちが使いたいときに使えないという事態が起らないよう、私たちが公衆トイレを使用するときには気をつけようと感じました。

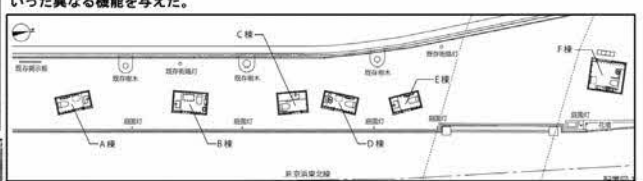
(吉岡真依)

【参考】

大井町駅前公衆便所【OIMACHI EKIMAE PUBLIC TOILET】



大井町駅前公衆便所は、駅に隣接し利用頻度が高いことに加え、駅構内よりその姿を見ることができるところから、多様な利用者のニーズに対応できる機能性を有し、景観にも配慮されたトイレとすることを目的に、設計コンペティションを実施。
200を超える応募作品の中から、バリアフリートイレへの利用者の集中が緩和できることや、性的少数者への配慮が可能となることなどから、男女の区別を無くした機能別の個室トイレを配置する案を採用した。
6つの個室は、それぞれにおむつ交換、オストメイト、着替え、パウダールーム、車いす対応といった異なる機能を与えた。



それぞれ高さが異なる6つの個室トイレを配置



※防災まちづくり部公園課より



第17期行動計画推進会議報告書 完成

「性的マイノリティの理解促進をするための 教育や啓発、支援などの環境整備について」

◆ 諮問事項 ◆

「マイセルフ品川プラン～誰もが自分らしく～（男女共同参画のための品川区行動計画第5次等）」の策定に伴い、新規重要事項の一つである性の多様性を認め合う社会づくりを推進するため「性的マイノリティの理解促進をするための教育や啓発、支援などの環境整備について」とする。

第17期 品川区行動計画推進会議報告書

「性的マイノリティの理解促進をするための
教育や啓発、支援などの環境整備について」

2021(令和3)年12月
第17期 品川区行動計画推進会議

詳細は、
区ホームページを
ご覧ください

令和元年7月より品川区行動計画推進会議（第17期）がスタートし、12名の委員（学識経験者と公募委員）で上記の諮問事項について会議を重ね、令和3年12月2日の解囑式において、桑村副区長に報告書を手渡しました。



この報告書は、3つの分野からなります。

第1章 理解促進のための法的・制度的環境整備

第2章 当事者支援に関する環境整備

第3章 教育と啓発のための環境整備

第1章では、3つの提言がされています。

- 1993年制定の「人権尊重都市品川宣言」にわかりやすい言葉・簡潔な文章で記した【解釈版】を作成・併記することで、理解促進の基礎である「人権」についての周知・理解が広がります。
- 「レインボー宣言 しながわ」の発出により、品川区の取り組み意欲を具現化します。
- パートナーシップ制度を早期導入することで性的マイノリティへの支援を制度的に確立します。

第2章では、性的マイノリティは「**日常中にあるものが自分たちも含まれたものであると認識できる社会**」を望む観点から、新規事業よりも性的マイノリティへの配慮ある現状の改善が行われるように、10の事項に優先順位をつけて、改善要望がされています。

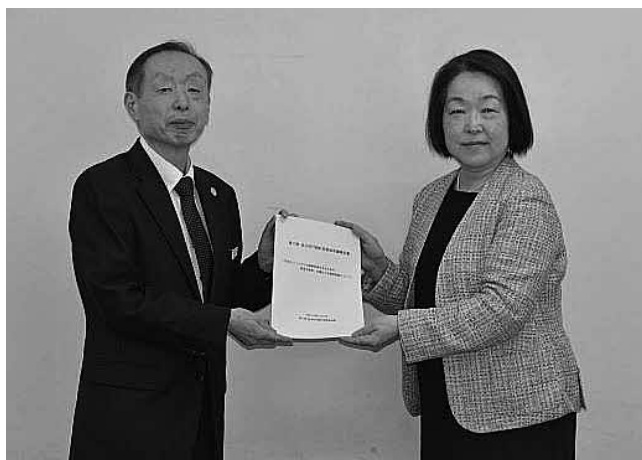
第3章では、教育現場への取込み、研修の実施、啓発・広報の充実の面から提言がなされています。啓発充実の面においては、レインボーブック・パネル・リーフレット・イメージキャラクターなど啓発ツールのサンプル案が提案されています。

～報告書完成に寄せて～

第17期行動計画推進会議会長 川眞田 嘉壽子

第17期行動計画推進会議報告書は無事に完成し、2021（令和3）年12月2日桑村副区長に手渡しました。

第17期行動計画推進会議の諮問事項は、「性的マイノリティの理解促進をするための教育や啓発、支援などの環境整備について」です。これは、2019(令和元)年に策定された品川区の「マイセルフ品川プラン～誰もが自分らしく」において、「目標1. 人権が尊重されるまち しながわの実現」の重点取組として、「2. 性的（セクシュアル）マイノリティへの理解促進と支援」が初めて加わったことが背景にあります。品川区として積極的にこの課題に取り組みたいという姿勢の表れです。



今日、社会の多様性を実現するために国レベルでも、2020(令和2)年の「第5次男女共同参画基本計画」中、第6分野「男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備」において、性的指向・性自認（性同一性）に関する環境整備が求められています。折しも世界では、同性婚を承認する国や地域が現在約30にまで拡大しています。日本国内でも2015(平成27)年12月に渋谷区・世田谷区で始まった同性パートナーシップ制度の導入が、現在日本全国の130を超える地方自治体に拡大するなど、性的マイノリティの人権保障は、近年日本の内外で重要課題として関心が高まり、取り組みが加速化しています。またこの課題は、2015年から2030年までの15年間に国連を中心として国際社会全体で、日本国内でも国、地方自治体、企業、学校など社会の様々なレベルで取り組みが求められているSDGs（持続可能な開発目標）の目標5（ジェンダー平等を実現しよう）、目標10（人や国の不平等をなくそう）及び目標16（平和と公正をすべての人に）の実現に直接かかわっています。

第17期行動計画推進会議は、国の内外で今日的に重要な意義を持つこの諮問事項を2019(令和元)年7月4日に委嘱を受け、報告書作成の準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、報告書の完成を半年以上延期せざるをえませんでした。この間、各委員は限られた環境の中、ZOOM会議を利用して意見交換を続けるなど協力して、各自の知見を最大限発揮し、この報告書を今般無事取りまとめるに至りました。

報告書はわかりやすく記述することに努め、すぐに利用していただけるように実用的な活用サンプルも掲載しています。ぜひ一度ご覧いただければと存じます。この報告書が、性的マイノリティへの品川区の皆様の関心を高め、理解の促進につながることを期待しております。

2021 男女共同参画推進講座報告

■ 多様性尊重講座 「ふつう」ってなんだろう?～多様な性から人権を考える～

○ 講師：中島 潤 氏

○ 令和3年9月28日(火) ○ 参加者：会場参加9名 オンライン参加4名
性のあり方は誰にとっても人権であり、自分らしく生きるための大切な要素です。
このワークを通して、多様性を尊重するための理解を深めます。



参加者の感想

- 日常の中で切り替えることから始められることを学ぶことができました。
- 性のありかたは人の数だけある。
- 「ふつう」の使い方を改めて考え直しました。ぜひ、子供たちにも知ってほしいです。

■ アンガーマネジメント講座 ～怒りの感情コントロール術～ 男性限定

○ 講師：江野本 由香 氏 (日本アンガーマネジメント協会公認ファシリテータ)

○ 令和3年10月5日(火) ○ 参加者：12名

カッとした時の対処法や、イライラ、ムカムカした時にどうすればよいのか、怒りの感情で後悔しないためのコントロール術を学びます。

参加者の感想

- 世の中変えられないものが大多数と考えた方が幸せという言葉が気に入った。
- アンガーマネジメントを実践し、自分の幸福感、家族の幸福感の中で生活することを目指したいと思えます。
- 怒りの正体は、こうあるべきと現実のギャップである。変えられないことは受け入れて、現実的な選択肢を探す。アンガーマネジメントは、「こうなるためにはどうしたらいい?」の解決思考だと学んだ。



■ 夫婦の悲劇「マクベス」

○ 講師：門野 泉 氏 (京財団政策研究所理事長・清泉女子大学名誉教授)

○ 令和3年10月13日・27日(水) ○ 参加者：全2回開催 参加者延べ37名

1回目：『マクベス夫人の悲劇か?』 会場参加14名 オンライン参加7名

2回目：『マクベスの悲劇か?』 会場参加9名 オンライン参加7名

シェイクスピアの『マクベス』は、17世紀初頭のイングランドからみたスコットランド歴史悲劇。王位簒奪者マクベスとマクベス夫人に焦点を当て、現代の視点から悲劇を読み解く。

参加者の感想

- 「言葉で人は動く」という言葉が心に残った。
- 日本文化を引き合いに出しての説明は、身近で想像力をひきつける。歴史的背景や劇場が1つのコミュニケーションの場という当時の社会をも知り、興味深かった。
- 「マクベス」の読み方の多さにびっくり。演劇の楽しみ方を教えてもらって、すごく楽しかったです。



2021 男女共同参画推進講座報告

■ SDGs 講座 ～食料支援と女性の自立～

- 講師：鈴木 邦夫 氏（国連WFP 協会事務局長）
間辺 初夏 氏（国連WFP 協会事業部）
- 令和3年11月18日（木）
- 参加者：会場参加3名 オンライン参加6名
SDGs の中でジェンダー平等（SDGs5）の達成は、飢餓の撲滅（SDGs2）の重要なカギとなっているが、私たちはどう取り組めばよいのか。



参加者の感想

- 女性就学と食料飢餓との話が印象的でした。（*）身近な商品を買ってできる寄付をしてみようと思います。
- インスタントラーメンを購入することによって、（*）寄付が行えているのを初めて知り、私たちの身近にある情報についてさらに知りたいと感じた。

* 国連 WFP の学校給食支援シンボル「レッドカップ」のロゴ付き商品を購入すると、売上の一部が企業から寄付されます。



■ LGBT 等やその友人、家族向け交流スペース『みんなのひろば』

- LGBT 法連合会（略称）の協力により開催
- ①令和3年12月4日（土） ②令和4年2月12日（土） オンライン開催
性自認・性的指向のあり方や多様性を認め合い、差別や偏見をなくせるよう、安心して思いや悩みを共有し、自分らしく過ごすことができる交流の場です。
- DVD 上映 ①「I Am Here」浅野智也監督と話そう、フリートーキングなど
②「ジェンダー・マリアージュ」フリートーキングなど



■ アサーティブ（自己表現）コミュニケーション講座【女性限定】

- 講師：小柳 茂子 氏（相模女子大学人間心理学科教授・臨床心理士）
- 令和4年2月8日・15日・22日（火）全3回 定員15名
相手も自分も大切に表現方法を身につけましょう。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

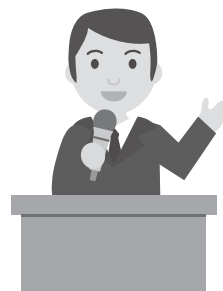
★ 出前講座実施しています ★



男女共同参画センターでは、主に学生の方を対象にデート DV 講座と性の多様性尊重講座などの出前講座を実施しています。

活動範囲が広がる新生活において、「自分も相手も大切にすること」、「自分のふつうは他人とは違う」など、講座を通して学びませんか？令和3年3月に義務教育学校の7年生と9年生で実施しました。

出前講座をご希望の場合は、男女共同参画センターへ電話かメールでお申込みください。





誰にも言えずに悩んでいるかもしれません。周りの人が関心を寄せることで防げる被害があります。

誰にも言えずに悩んでいるかもしれません。周りの人が関心を寄せることで防げる被害があります。

大事になっちゃうかも?! それよりあなたが大切です。プライバシーも守られます。

ひとりで悩まないで。まずは相談!

内閣府男女共同参画局 HP では、事例や相談窓口など紹介しています。

4月は「若年層の性暴力被害防止月間」です!!

10代・20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。誰もが、加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないように、社会全体でこの問題に取り組む必要があります。

AV出演強要

「アイドル・モデルにならないか」と誘い、性的な行為の写真や動画を撮られるケースがあります。



JKビジネス

「JKリフレ」「JKカフェ」「JK散歩」などおしゃべりするだけ! 時給もいい! そんなバイト募集広告が実際には性的な行為を含むバイトだったりします。

デートレイプドラッグ

飲み物に睡眠薬を入れられ、性暴力の被害にあう。そんな被害が増えています。



被害にあわないために

● 安易に 個人情報をお教えない ● 冷静に考えて その場で契約しない ● 少しでも嫌なら 迷わず断りましょう

未成年者の場合は、保護者の同意のない契約は原則として取り消すことができ、違約金を支払う義務はありません。家族や周囲との日ごろからのコミュニケーションと共に、自分自身を守るために正しい知識を得ることが大切です。

性犯罪・性暴力でお悩みの方へ

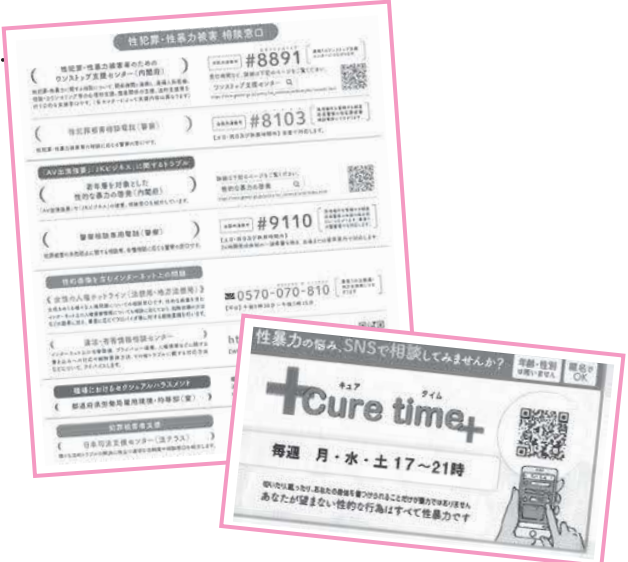
「# 8891」

内閣府では、令和2年10月に、全国共通ダイヤル「# 8891」(はやくワンストップ)を導入しました。「# 8891」におかけいただければ、最寄りのワンストップ支援センターにつながります。

「キュアタイム」

毎週月・水・土の17時から21時には、チャット相談できる性暴力に関するSNS相談「Cure Time (キュアタイム)」を実施しています。

あなたの不安に寄り添いながら支援をする、公的な相談窓口があります。



若年女性を取り巻く現状

コロナ禍で、孤独を深める女性たちの現状を学び、理解を深めるため、男女共同参画センターで講座を実施しました。

- 開催日: 2021年8月5日(木)
- 講師: 特定非営利活動法人 BOND プロジェクト代表者 橋 ジュン 氏
- 参加者: 会場参加 3名 オンライン参加 8名



参加者の感想

- 公的機関に繋がるまでに、こんなにも困難を伴うことを初めて知りました。
- 公的制度をもっと柔軟に利用できるように改善してほしい。
- 若い世代特有の対応が必要なことや行政の対応の地域差など難しいことを痛感しました。
- 女性たちも家にいられない状況をどうにかしようとしているのに彼女たちを保護したり、手を差し伸べる大人が本気でなかったり、それをビジネスとして利用していたり、当事者の気持ちに寄り添っていないような印象を受けました。

らしさ～その生きづらさはどこからくるのか～

- 開催日：令和3年11月13日（土） ○ 場所：きゅりあん小ホール
- 参加者数：会場参加 43名 オンライン参加 25名
- 講師：田中 俊之氏（大正大学心理社会学部准教授）

区民一人ひとりが互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、能力と個性を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、公募の区民委員はじめ、今年は立正大学法学部の学生も参加し、企画・運営しました。講師は、大正大学心理社会学部准教授の田中俊之さんをお招きし、「らしさ～その生きづらさはどこからくるのか～」をテーマに様々な事例や統計データを紹介しながら、ご講演いただきました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策として、会場参加とオンライン参加のハイブリッド配信で実施しました。



参加者の感想

- 日頃、アンコンシャス・バイアスの視点で生きていることが、「気づき」としてハットしました。
- 男女にとらわれず、だれにとっても生きやすい社会を作ること自分事として考えていくことが大事。
- 自分と異なる価値観を持つ個人や集団に対する敬意と異なる文化を持つ人との融合が大切だと思う。
- 男性の働きすぎによって、社会の変化が進まないということが心に残った。

◎ 男女共同参画センターからのお知らせ ◎

★女性相談員による相談室

人間関係、家族の問題、配偶者や恋人などからの暴力（DV）や心や生き方、セクシュアリティなどの悩みごと、また離婚、相続等、法律に関することなどお気軽にご相談ください。（性別問わずどなたでもご利用ください。）
※原則、品川区在住の方が対象です。



面接相談

無料。事前予約 が必要です。予約電話 3784 - 0820

予約受付時間 平日午前9時～午後5時

	相談時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月
法律相談	午後1時～3時30分	6日(水)	11日(水)	1日(水)	6日(水)	3日(水)	7日(水)
	午後1時～3時30分	12日(火)	17日(火)	14日(火)	12日(火)	9日(火)	13日(火)
	午後5時30分～8時	18日(月)	23日(月)	20日(月)	25日(月)	15日(月)	26日(月)
カウンセリング相談	午後1時～4時	28日(木)	26日(木)	23日(木)	28日(木)	25日(木)	22日(木)
DV相談	午後1時～4時	1・15・22日(金)	6・20・27日(金)	3・17・24日(金)	1・15・22・29日(金)	5・19・26日(金)	2・16・30日(金)
	午後5時30分～8時30分	8日(金)	13日(金)	10日(金)	8日(金)	12日(金)	9日(金)

電話相談



カウンセラーによる電話相談

相談専用電話 3784-0821

● 毎月第1・2・5木曜日 午前10時～午後3時30分

● 毎月第3木曜日 午前10時～午後7時30分

※ただし、木曜日が祝日の場合はお休みや日時変更となります

- ★ 法律相談は、弁護士に法律に関すること ★ カウンセリングは、カウンセラーにこころと生き方の悩み事
- ★ DV相談は、専門相談員にDVに関することを相談できます。男性のDV相談は、事前予約の上で、電話相談となります。

★ 令和4年度男女共同参画推進講座のお知らせ ★

- 会 場：男女共同参画センター（品川区小山3-22-3旧荏原第一地域センター）
- 問合せ先：男女共同参画センター 電話3784-0820 FAX 3784-0823

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行って、実施いたします。

※以下の内容は原稿作成時のものです。**最新の情報は広報しながわや品川区ホームページでご確認ください。**

開催予定月・場所	内 容
①7月 ②12月（土曜日）	～LGBT等やその友人、家族向け交流スペース～ 「みんなのひろば」 性自認・性的指向のあり方や多様性を認め合い、差別や偏見をなくせるよう、安心して思いや悩みを共有し、自分らしく過ごすことのできる交流の場です。（DVD上映、フリートーキングなど）
8月	DVまたはデートDV（親向講座）または若者層女性向け 「性暴力被害について」 子どもたちを加害者にも被害者にもさせないために知っておきたいことを学びます。
8月30日（火） 場所：五反田文化センター 音楽ホール	「マイセルフ品川プラン」啓発・促進講演会 テーマ：「性の多様性と人権」 講 師：杉山 文野さん
9月	性の多様性尊重講座 性のあり方は誰にとっても人権であり、自分らしく生きるための大切な要素です。その人らしく生きられる地域を考え、多様な性の尊重について学びます。
9月	アンガーマネジメント講座（男性限定） 仕事のストレス、家族間のコミュニケーション不足、子育てへのストレスなど、「かつ」となってしまったときにできる感情のコントロール術を学びます。
10月（全2回）	文学と男女共同参画 シェイクスピア文学を題材に男女共同参画について学びます。 講師：門野 泉さん
11月12日（土）午後 場所：スクエア荏原 ひらつかホール	男女共同参画推進フォーラム2022 公募等の委員により、企画運営を行ないます。 テーマ：女性の活躍と仕事と生活の調和（案）
11月（全3回）	アサーティブ（自己表現）コミュニケーション講座（男性限定） 自分も相手も尊重しながら、「男性というジェンダー」について学びます。
1月	しながわ防災学校講座（防災課主催） 避難先での女性視点を生かします。
①7月 ②12月	交流室事業 ～手作りサロン～ 男女共同参画センターを知ってもらうための事業です。 簡単にできる作品でホッと一息つきませんか。

● 男女共同参画センター仮移転 ●

きゅりあん改修工事による休館に伴い、男女共同参画センターは令和4年1月下旬～令和4年12月（予定）まで仮移転中です。会議室・交流室も仮移転先でのご利用となります。

【仮移転先】品川区小山3-22-3（旧荏原第一地域センター）

【戻り予定】令和4年12月下旬 下記へ戻る予定です。

マイセルフー自分らしくーVOL.64.65 合併号（しながわの女性から通算すると93号）

2022年4月発行 品川区総務部人権啓発課男女共同参画担当

〒140-0011 品川区東大井5-18-1 品川区男女共同参画センター

TEL. 5479-4104 FAX. 5479-4111 Eメール：danjo@city.shinagawa.tokyo.jp

● 区内の各図書館、地域センター、文化センターなどで配布しています。 ※古紙を配合した紙を使用しています。